

税金という投資に応える

京都府立南陽高等学校附属中学校3年
成田 ひまり

「私達は期待されている。」税に支えられる部分が多い私達には、この意識を持つことが必要だ。なぜなら、税を払う人は皆、未来の地域、そして日本を支えてくれることを期待して、私達の未来の可能性に投資してくれているからだ。

ただ単に、税金は私達の生活を支えてくれている、そして税金が今の私達を創り出してくれている、と捉えることは、税を受ける身としては軽い意識だと思う。しかし、私は元々このような考えを持っており、これに似た捉え方をする人も少なくないだろう。「税金」という、遠いようで近い位置にあるものの在り方が変わることは、これからの私の、税に対する意識をより強くするきっかけになると思う。

私の、税に対する考え方が変わった経験は二つある。一つ目は、市の事業の、海外派遣に参加したことだ。私は今年の夏、市が中学生に対して企画する事業によって、サンタモニカを訪れた。そこでの経験は刺激を受けるものが多く、私の知らなかった景色を拓いてくれるきっかけとなった。ここで、この経験を終え私が考えたことは、市民からの税金を使って、海外へ研修をしに行った、ということだ。もちろん、この事業を行う上では、市民が納税してくださった税金を使っており、そのことは事業の役員の方にも強調された。海外派遣事業は中学生の私達に、海外でしか実感できない経験を積む機会を与えてくれている。その経験を人生の糧にして、柔軟で豊富な考え方をできる人を育てたいという想いを、このような機会に形に表してくれていると思う。また、海外に行くことで私達にとっては将来の選択肢が増えた。海外に興味を持った人は特に、税金は私達の未来を拓いてくれるものになり得ることを、税金への感謝と共に実感した。二つ目は、医療費だ。私は今まで、診察を受けたり、薬を受け取ったりすることに対して、医療費を多く支払う場面をあまり見てこなかった。そして、それは私の中で普通となっていた。しかし医療費について考えると、税金に支えられたおかげで今まで生きてきた、と考えても過言ではないと思う。私は、税金は私達の生きるための基盤を、生まれた頃から形成してくれている、ということを実感した。

私達は、自分達の未来の可能性に投資してもらっている。私達は税金によって基盤を形成し、その基盤は将来、社会について考えられる力に活かされるだろう。

今まで受けてきた税による恩恵は、私にとっては普通となってしまう、税金に対する感謝は薄れていた。その感謝を取り戻し、私は税金に込められた想いに応えるように努力する。今日もどこかで、税金は私達を支えてくれている。今までの投資が実を結ぶように、これからの未来を全力で生きたい。